

けんこうつうしん

健口通信

平成 28 年 7 月 8 日
あま市立秋竹小学校



学校保健委員会を行いました

6月30日(木)に、学校歯科医、歯科衛生士、保護者、児童、職員が参加し、学校保健委員会を行いました。内容は、健康診断の結果の報告と、健口フェスティバルの成果と課題についてでした。口腔の健康に関する内容について紹介します。

本校の歯の健康については、昨年度からの取組みにより以下のように変化してきています。

- ・ 未処置歯保有者が減少している学年が多くなってきた。
- ・ 昨年度の歯垢の付着や歯肉の状態と比較すると、かなりよい状態になってきた。
- ・ 歯を大切にしようとする意識が高くなってきた。

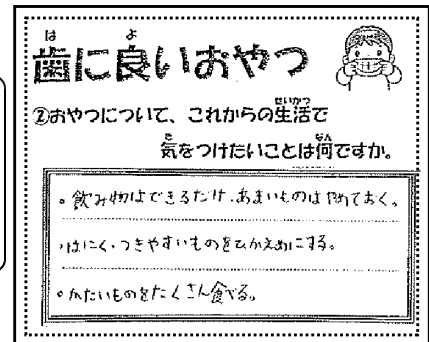
しかし、課題としては海部地区平均と比べると次の2点が挙げられます。

- ・ う歯に関して、未処置歯保有者率が1・3・6年が海部平均より高い。特に1・3年男子は50%の人が未処置歯保有者である。
- ・ 歯肉の状態や歯垢の付着状態が2・5年が海部平均より高い。(特に5年生)

こうした状況から、「意識から行動につなげ、習慣化する」ことが今後の課題だということがわかってきました。

健口フェスティバルについては、

- ・ 体験的に学ぶことで、関心が高まり、食を預かる者として考えるようになった。
 - ・ 子どもの中にちょっとした革命が起き、おやつも固い物を選ぶなど、興味をもつようになった。
 - ・ パタカラ体操を家でもやっている。
 - ・ 子どもたちもよく噛むようになり、会話も増えた。
- など、その後の家庭でのうれしい変化を教えてくださいました。



歯科医の服部先生からは、

- ・ 小学生でできていても、中学、高校と進むにつれてできなくなる。今、いかに習慣化することができるかが重要。
- ・ 近年、『個食』『孤食』が問題になっているが、家族揃って食事をするすることで、噛む回数も増え、規則正しい生活につながり、生活の質にもよい影響がある。

といったご助言をいただきました。学校保健委員会での話し合いを元に、今後も歯の健康についての取り組みを進めていきたいと思っております。



歯磨きチェック よろしくお願ひします

来週7月11日(月)から、7月の歯磨きチェックを行います。子どもたちにもずいぶんと定着してきたように感じます。良い習慣を確立していくために、ご協力よろしくお願ひします。